

留学先大学：ロンドン大学SOAS
 留学先での所属学部・研究科：ELAS
 留学先での在籍身分：Undergraduate
 留学期間：2013年9月～2014年6月
 神戸大学での所属学部・研究科：発達科学部
 学年（出発時）：3
 本報告書記入日：2013年11月7日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

- ・留学生課にあった過去の交換留学生の体験談を集めたファイル
- ・イギリス(主にSOAS)に留学していた学生のブログ
- ・イギリスに留学していた友人からの情報など

住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮，アパート）の名前：Dinwiddy House
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：_____） その他（具体的に）_____
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- ・大学までの通学時間・手段：25分，徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

一人部屋ですが、キッチンのみ共有で、フラットメイトはイギリス人3人、ポーランド人1人です。徒歩圏内に大手スーパーがあり、日々の生活には困らない。また、King's cross駅にも近く、便利です。ただし、夜間の治安はあまりよくないようです。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

平日のランチは大学のカフェかフリーミール(宗教団体が行っている)を食べる。それ以外の朝晩と週末は寮のキッチンで自炊です。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航前に決まっていた。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）下記参照
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

ELASはSOASの通常の授業とは異なり、English language, Academic course, Language/Culture studiesで構成されています。出発前に希望を伝えますが、実際の決定はオリエンテーション期間中になされます。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

注) English Languageの授業はオリエンテーションウィーク中の試験でA1からA4までの4段階にクラス分けされます。2013年の1st termはA1とA3が1クラス、A2が2クラス、A4はありませんでした。私はA2に所属することになりましたが、ネイティブとも問題なく会話できる人から、なんとか話せるという人までレベルはバラバラです。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Academic English A2	Neil Robbie	5		約10	予習・復習は必ずしも必要ではありませんが、エッセイ系の課題が分量も頻度も比較的多いです。この授業の課題が最も辛いと言う学生も多いです。
2	Academic English A2	John Trzeciak	4		約10	授業はテキストを読んで、お互い意見を発表する形式が多いです。授業時間内は自分の意見を主張すること、時間外はあいまいな語彙の確認がポイントだと思います。
3	Academic English A2		1			形式的に週1コマ入っていますが、実際にこの時間に図書館で勉強するかは確認されません。ただし、課題は全て期間内に終えましょう。
4	Social Sciences	Chris Boyle	5		約10	Lecture, Case study, Review, Discussion, Seminarの計5コマです。内容は日本の大学の政治学に近いです。Readingの分量はELASの中では比較的多いようです。
5	IELTS Examination	Robin Kearney	4		約10	IELTSの準備コースです。基本的に毎週IELTS形式のwritingの課題がです。先生のテンションが高く、毎週笑いが耐えられない授業です。
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

各授業毎に何をすべきかが明確になっているため、学生は勉強に集中しやすいと思います。また、全ての授業が10人程度であることも良いと思います。ただし、ELASの約半数が日本人のため、どの授業も基本的に半分が日本人という環境でもあります。そして、語学を主としたコースのため、先生を除いてネイティブは存在しないところはマイナスであるように感じます。成績評価については全日程終了後に。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00	Literacy (9-11)	Oracy (9-11)	SS(10-12)	Oracy (9-11)	Literacy (9-11)		
10:00							
11:00							
12:00	Self study (12-13)	SS(13-14)		Literacy (12-13)	--帰宅--		
13:00			SS(14-15)		勉強		
14:00							
15:00	IELTS (15-17)	SS(16-17)	--帰宅--	IELTS (15-17)			
16:00			勉強				
17:00							
18:00	--帰宅--	--帰宅--		--帰宅--			
19:00	勉強	勉強		勉強			
20:00	ご飯	ご飯	ご飯	ご飯	ご飯		
21:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

・留学まで

大学に入学して最初の夏休みに留学という選択肢を真剣に検討するようになってから、およそ2年後の9月にロンドンにやってきました。私は英語が非常に苦手で、神戸大学で必修である英語の授業に苦しみ、TOEIC-IPを受ければ学内の平均をはるかに下回るような学生でした。当初は4年でのストレート卒業に最も影響の少ない2年次の9月から3年にかけての留学を目指していましたが、英語力不足のため断念し、翌年の全学協定交換留学制度によってロンドン大学SOASに留学することができました。日本にいる間には、イギリス以外に英語圏であるアメリカ・オーストラリアの大学への交換留学も検討しましたが、留学経験者のアドバイスを元に、この大学への交換留学を決めました。

・大学生生活

交換留学生として9月からSOASにきていますが、正規コースの英語の条件を充たすことができなかったため、ELAS(English Language and Academic Studies)の授業を受けています。ここでの授業はその名の通り、英語で勉強する能力をつけることが目的となっています。授業は英語能力の向上を目的としたEnglish Language Courseが週9時間(加えて自習が1時間)、大学の授業内容に近いAcademic Courseが5時間、この他にLanguage/ Cultureが4時間で構成されています。Academic Course (Social Sciences) は以前大学で学んだ内容に比較的近かったため、英語で日本語の授業を復習するような感覚に陥っています。英語だけに集中できる状況であることは確かですが、内容がある程度推測できてしまうため、必ずしも良い面ばかりではなかったように思います。

・寮生活

SOASの運営する寮(Dinwiddy House)は1人部屋(トイレ・シャワー付)ですが、キッチン(5-7人程度)で共有になっています。私のフラットは、イギリス人が3人、ポーランド人1人、日本人1人(私)の5人です。ELASの授業には先生以外にネイティブがいないため、寮での会話が良い勉強機会になっているように思います。

他の寮生の中には、フラットメイトのパーティーによる騒音やキッチンを全く片付けないなど色々悩まされている人もいますが、私のフラットは比較的平和(1ヶ月でマグカップは紛失しましたが)なようです。

・食生活

お昼は大学の前で配布されるHare Krishnaのフリーランチを食べることが多いです。ベジタリアンフードで好き嫌いがあるようですが、私は好きな味でランチの大半をここで済ませています。また、学内にはカフェと購買があります。カフェはあまり大きくありませんが、£3から5程度でランチを食べることができます。

朝晩と週末は自炊しています。寮の徒歩圏内にスーパーが何店舗もあり、自炊に困ることはありません。数駅先には日本食を扱うお店があるため、日本食が恋しくなった学生は少し足を伸ばして買い物をするようです。